

■しずだい産学連携メールマガジンVol. 95

2015年11月17日発行 【毎月第3火曜日】

⇒静大イノベーション社会連携推進機構より、お知らせやイベント情報をお届けします。<http://www.oisc.shizuoka.ac.jp/>からもご覧頂けます。

★今月の「みんなのコラム」は、三浦 憲二郎 先生です。

◆◆◆ 目次 ◆◆◆

1. 「静岡大学との連携による新技術説明会」を開催します
2. 静岡大学「第14回アントレプレナー講演会」を開催します
3. 「静岡大学食品・生物産業創出拠点 第40回研究会」ご案内
4. 「医療機器の生物学的評価」セミナーのご案内
5. 医工連携知財セミナー
「知財/特許とは～医療用器具、医療用機器を中心として～」のご案内

※問合せ先のアドレスは、スパムメール防止のため表記を一部変更しています。メール送信の際は[at]を@に変更してください。

1. 「静岡大学との連携による新技術説明会」を開催します

【日 時】2015年12月1日（火）13：00～15：55

【会 場】JST東京本部別館 1Fホール
(東京都千代田区五番町7K's五番町)

【プログラム】

- ①「遠赤色光吸収により光変換しつつ蛍光を発するタンパク質の発見」
学術院理学領域 講師 成川 礼
- ②「世界初 体外受精法を用いた有用な鳥類の創出」
学術院農学領域 応用生物化学系列 准教授 笹浪 知宏
- ③「ガンマ線照射を利用したポリエステル、ポリアミドの機能」
学術院教育学領域 家政教育系列 教授 澤渡 千枝
名誉教授 八木 達彦
- ④「デジタル式マイクロ流体システムのための弾性表面波を用いた
液滴の微小位置検出とその応用」
創造科学技術大学院 光・ナノ物質機能専攻 教授 近藤 淳
- ⑤「微量から大容量に適用可能な、投げ込み式の凍結濃縮装置」
学術院工学領域 化学バイオ工学系列 教授 木村 元彦
- ⑥「三相インバータ1台で磁気浮上回転する冷却ファン用ベアリングレスモータ」
学術院工学領域 機械工学系列 准教授 朝間 淳一

【参加費】無料

【主 催】静岡大学、科学技術振興機構

【共 催】静岡IT0

【後 援】 中小企業基盤整備機構、全国イノベーション推進機関ネットワーク

【詳 細】 <http://shingi.jst.go.jp/kobetsu/shizuoka/2015/>

【申 込】 静岡大学イノベーション社会連携推進機構

TEL : 053-478-1702

FAX : 053-478-1711

E-mail : ip-office[at]cjr.shizuoka.ac.jp

科学技術振興機構 産学連携展開部 産学連携プロモーショングループ

TEL : 03-5214-7519

FAX : 03-5214-8399

E-mail : scett[at]jst.go.jp

2. 静岡大学「第14回アントレプレナー講演会」を開催します

今年度は「地方創生」のキーワードの下、地域社会および世界にも進出を進めている地域企業の経営者をお招きし、チャレンジ精神活気醸成のための貴重なメッセージをいただきます。

皆様のご参加をお待ちしております。

【日 時】 2015年12月10日（木）

講演会 15:00~16:45 [受付14:30~]

交流会 17:00~18:00

【会 場】 静岡大学浜松キャンパス 佐鳴会館

〈交流会〉高柳未来技術創造館

【講 演】 「ものづくり企業の挑戦」

～産業用ロボットで、静岡から世界市場を切り開く～

講師 株式会社アイエイアイ

代表取締役 石田 徹 氏

【入場料】 無料

【主 催】 静岡大学イノベーション社会連携推進機構

【共 催】 静岡大学産学連携協力会

【後 援】 文部科学省、経済産業省、中小企業基盤整備機構関東本部

(予定) 静岡県、静岡県産業振興財団、静岡県中小企業団体中央会

新日本有限責任監査法人、静岡銀行、清水銀行、静岡県信用金庫協会

【詳 細】 http://www.oisc.shizuoka.ac.jp/inno_event002332.html

【申込・問合せ先】

静岡大学イノベーション社会連携推進機構

TEL : 053-478-1713

FAX : 053-478-1711

E-mail : antre[at]cjr.shizuoka.ac.jp

3. 「静岡大学食品・生物産業創出拠点 第40回研究会」ご案内

【日 時】 2015年12月11日（金） 13:15~16:50

【会 場】 アクトシティ浜松 コンgressセンター 5階52-54会議室

(浜松市中区板屋町111-1)

【講 演】

しずだい産学連携メールマガジンVol195
テーマ：グローバル化の中の食品・生物産業と機能性表示食品

- ①「食品の新たな機能性表示制度の概要」13:20-14:10
三生医薬株式会社 研究開発本部 企画開発部 係長 杉浦瑞枝 氏
- ②「機能性成分(GABA)又は主食(米)がヒトの自律神経機能(心臓・胃腸)に及ぼす影響
—攻めのヒト栄養学を目指すための工学技術—
」14:10-14:55
静岡大学 創造科学技術大学院 講師 沖田善光
- ③「写真事業からヘルスケア事業への展開」15:05-15:55
富士フイルム株式会社 医薬品・ヘルスケア研究所 統括マネージャー 江藤雅弘 氏
- ④「ビールと健康」15:55-16:45
サッポロビール株式会社 価値創造フロンティア研究所 上席執行役員 所長 中村剛 氏

【懇親会】ホテルクラウンパレス浜松 3F「竹の間」 17:00~18:30

【参加費】(当日、受付にて)
〈講演〉 会員・後援団体及び学生：無料 非会員：1,000円
〈懇親会〉 会員：3,000円 非会員：5,000円

【主催】静岡大学食品・生物産業創出拠点
【後援】静岡化学工学懇話会、静岡大学イノベーション社会連携推進機構(予定)

【問合せ】静岡大学イノベーション社会連携推進機構内
静岡大学食品・生物産業創出拠点 事務局
TEL：054-238-4361
FAX：054-238-3018
E-mail：oshirao[at]ipc.shizuoka.ac.jp

4. 「医療機器の生物学的評価」セミナーのご案内

公益財団法人 浜松地域イノベーション推進機構では、この度、医療機器の材料選択・設計担当者等を対象として、医療機器の生物学的評価の基本をご理解頂くためにセミナーを企画いたしました。

講師は、本年7月にNorth American Science Associates社(米国)と業務提携した国内最大規模の総合分析会社である、株式会社住化分析センターからお迎えいたします。

この機会に是非参加をご検討ください。

【日時】2015年12月1日(火) 14:00~16:10(13:30受付開始)
【会場】浜松商工会議所 10階C会議室

【講師】(株)住化分析センター
クライアントサービス本部 工業支援事業部 医療機器グループ
課長 亀田悦司氏
工業支援事業部
副技師長 吉岡孝文氏

【受講料】無料
【定員】25名程度
【申込締切】11月30日(月)

- 【主催】公益財団法人 浜松イノベーション推進機構
浜松・東三河ライフフォトニクスイノベーション
はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点
はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点事業
浜松商工会議所 医工連携研究会事業
- 【後援】豊橋商工会議所、東三河産業創出協議会
- 【問合せ】公益財団法人 浜松地域イノベーション推進機構
イノベーション戦略推進本部 丸橋・今野
TEL：053-471-0777
FAX：053-471-2113
E-mail：eventmail[at]haipro.jp

【詳細・申込】<https://www.hai.or.jp/calendar/1021.html>

5. 医工連携知財セミナー

「知財/特許とは～医療用器具、医療用機器を中心として～」のご案内

浜松医科大学 産学官共同研究センター、はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点及び公益財団法人 浜松地域イノベーション推進機構では、医工連携知財セミナーを開催いたします。

今回は、医療用器具や医療用機器を中心に具体例を交えながら特許の基本から知財戦略の考え方まで学んで頂けるプログラムになっています。

この機会に是非参加をご検討ください。

- 【日時】2015年12月9日（水） 15:00～16:30
【会場】浜松商工会議所10階A会議室
- 【講師】公益財団法人 浜松地域イノベーション推進機構
地域連携コーディネーター 今野 保彦
- 【受講料】無料
【定員】20名程度
【申込締切】12月7日（月）

- 【主催】浜松医科大学 産学官共同研究センター
[H27年度AMED国産医療機器創出促進基盤整備等事業]
はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点
[JST地域産学官共同研究拠点整備事業]
公益財団法人 浜松地域イノベーション推進機構
[浜松・東三河ライフフォトニクスイノベーション]

【詳細・申込】<https://www.hai.or.jp/calendar/1025.html>

《 みんなのコラム -89- 》

記：工学部 機械工学科 教授 三浦憲二郎

平成9年に静岡大学に赴任してから、平成27年3月で丸18年を迎えました。私の研究の中心は機械系CAD/CAM/CAEのための形状モデリングです。

会津大学コンピュータ理工学部から静岡大学工学部への転任ということで、仮想現実ではなく機械を代表例とする実際のモノ・現象の

本質を捉えてモデル化・モデリングするという意気込みで、研究室の名前を「リアリスティックモデリング研究室」と決めました。

CAD/CAM/CAEは、もちろん学問として究めることも重要ですが、その研究対象から企業のニーズに的確に答えることが最優先されると考えております。その考えよりこれまで産学連携に積極的に取り組んできました。例えば、ボールエンドミルのカッターパス生成、製品表面に様々な模様を付与するシボのデジタル化、電子基板のCT画像によるはんだボールの良否判定、動画像からの手振れ振動補正、さらには4次方程式の解の算出プログラムの作成やFFTによる金属表面の傷の検出等を行ってきました。ベースとなる技術は「コンピュータによる形状処理」ですが、それにとらわれずに積極的に様々なことにチャレンジしてきました。現在は私の専門分野からは少し離れますがFPGAによるFFTの実装に取り組んでいます。

これまので産学連携がすべてうまくいったということではありませんが、研究室に閉じこもって研究するだけでなく、現場の方のご意見や考え方を知った上で研究することが私の専門で良い研究をするためには不可欠です。また、学生にとっても外部の方々との共同研究を進めることは、社会に出る前準備として貴重な体験となっています。大学では製品を作ることはほとんどありませんが、産学連携により実際の製品開発に携われることは非常に勉強になり、またやりがいがあると思っております。「形状処理」や「計測」、「信号処理」でお困りのことがありましたらぜひ一度研究室にお越しください。お待ちしております。

《先生の研究にご興味をお持ちの方は下記HPをご覧ください》
<http://ktml1.eng.shizuoka.ac.jp/>

《 編集後記 》

11月7日(土)、8日(日)に第16回静大祭in浜松、第20回テクノフェスタが浜松キャンパスにて開催されました。

あいにくの天気でしたが、学生によるパフォーマンスが披露されたり、オリジナリティ溢れる屋台が立ち並び、多くの方にお越しいただきました。テクノフェスタでは様々な実験が行われ、子どもたちや市民の皆様は科学技術の面白さや、楽しさを体験していただき、最新の研究テーマに触れていただきました。

毎年開催される静大祭・テクノフェスタは、静岡大学で行われている研究を楽しみながら知ることで出来る絶好の機会です。今回お越しになった方も来られなかった方も、来年是非ご参加ください。

* — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * —

◆メールマガジンに関するお問合せ・配信先変更・担当者変更・
配信中止のご連絡は、[sangakukoho5\[at\]cjr.shizuoka.ac.jp](mailto:sangakukoho5@cjr.shizuoka.ac.jp) まで
お願いします。(↑送付の際は[at]を@に変更してください。)

◆本メールマガジンの商業用の転載はお断りいたします。

発 | 行 | 者 |

国立大学法人静岡大学イノベーション社会連携推進機構

編集：谷口悠里

発行責任者：木村雅和

〒432-8561 静岡県浜松市中区城北3-5-1

TEL 053-478-1413

URL <http://www.oisc.shizuoka.ac.jp/>

* — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * —

Copyright (c) 2008-2015

Organization for Innovation and Social Collaboration,
Shizuoka University. All rights reserved